

一般社団法人 千葉県作業療法士会

令和3年度 第1回臨時総会
(令和4年度 予算総会)

議案書

日 時：令和4年3月21日（月）事前説明会
令和4年3月28日（月）19:00～
予算総会

【第1号議案 令和4年度 事業計画及び当初予算計画】

令和4年度 活動方針

一般社団法人千葉県作業療法士会 会長 坂田 祥子

日頃より県士会活動にご協力いただき、御礼申し上げます。

当士会は、「リハビリテーション&ノーマライゼーション」の理念のもと、会員が学びあい、支え合い、力を合わせ、医療・介護・保健・福祉分野において県民に貢献する県士会を目指します。そのために、会員同士の「つながり」・「育ち」・「参加する」を促進する県士会活動を展開します。

令和4年度は、昨年度に引き続き「千葉県作業療法士会の組織改編後の活動の充実」と「コロナ禍での活動の継続」が挙げられます。役員改選が予定されていますので、円滑に引継ぎを行い活動の継続性に注力します。

1. 千葉県作業療法士会の組織改編後の活動の充実

事務局機能：会員情報の管理と事務局に統合した調査部、福利厚生部、渉外委員会の活動を継続し、「協会員＝士会員」の準備、倫理問題の対応の体制整備を進めます。

学術活動の充実：各委員会の連携のもと、領域ごとの学術活動、学術誌千葉作業療法の編集・発行、学会開催し学術活動の充実を図ります。

生涯教育プログラムの推進：日本作業療法士協会生涯教育制度である現職者研修会、MTDLP研修会、臨床実習指導者講習会を開催し、生涯教育プログラムを推進します。

地域連携部の創設：地域社会で作業療法士が活躍するための人材育成研修や情報交換、県士会内での連携や各種制度に対応、人材派遣の在り方などの検討を行います。

広報活動の整理と充実：県士会ニュース、ホームページ、Facebook、Twitter、多様な広報のツールの特徴を生かした広報活動を展開し管理します。2025年を目標に県士会ニュースのペーパーレス化に向けて体制づくりを進めます。

ブロック活動の推進：ブロック単位での会員同士の交流・情報交換をベースに、ブロック間での協働を図っていき、地域社会に根差した県士会活動を行います。

運転特設委員会：県内のニーズに鑑み活動期間を延長します。

2. コロナ禍での活動の継続

引き続きコロナ禍の影響を受けると予想されます。Webを用いた会議や研修会の開催と並行し、状況に応じて対面での活動を開催していきます。Webでの活動は主にZoomを用いていますが、引き続き活動に支障が生じないように体制整備に努めます。対面集合形式での活動指針 Ver2の改訂を検討し会員への周知を図ります。

引き続き、県士会活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

事務局 庶務部

1. 会議の開催
 - (1) 定時総会
 - 年 1 回 (6 月第 4 日曜日)
 - 臨時総会年 1 回 (3 月)
 - (2) 理事会
 - 年 12 回 (オンライン含む)
2. 会員原簿、名簿の作成・管理
 - ・新入・転入会員の加入受付・手続き
 - ・異動、退会、休会の受付・手続き
 - ・日本作業療法士協会会員管理システムの活用
 - ・新規会員原簿の作成、データ入力
3. 内外公文書の作成・発送・收受・保管に関すること
 - ・施設使用願い、講師派遣依頼、講師依頼、委員派遣依頼 他
 - ・役員・各部局委員の委嘱状
4. 後援名義の使用許可
5. ニュース等の発送
 - ・封入作業委託先：千葉県身体障害者福祉事業団 更生園
 - ・発送回数：6 回 (ニュース 6 回)
6. 部局委員会名簿の管理
7. 生涯教育他団体資格審査の受付
8. 法人登記事項変更手続き
9. 規定等の整備
10. ZOOM ライセンス管理
11. 事務局移転準備
12. 千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連携推進会議に関すること
13. その他

事務局 財務部

1. 年会費未納・滞納の会員の究明化と催促状送付
2. 一般社団法人 千葉県作業療法士会の親口座の管理
3. 手続き済みの会員の口座より、年会費自動引き落としに関わる作業
4. 口座振替用紙の保管
5. 口座に直接年会費を入金した会員の情報管理
6. 税理士の指導を仰ぎ、会計管理に関わる各種書類の作成と保管と処分
7. 税理士の指導を仰ぎ、会計監査に関わる事務業務
8. 補正予算決議後予算確保と振込
9. 4 か月ごとの予算締め作業

10. 予算執行率の確認

11. オンライン入力の設定

※部員人数：4名 事務員：3名へ指示の上、事業を遂行する。

事務局 渉外部

1. 千葉県精神保健福祉協議会への団体加入、理事・実行委員等の派遣
2. 千葉県精神保健福祉協議会顕彰の推薦
3. 介護認定審査会委員・障害者介護給付費等審査会委員の推薦
4. 千葉県介護支援専門員協議会への理事・代議員派遣
5. 千葉県総合支援協議会・精神障害者地域生活支援専門部会・療育支援専門部会への委員派遣
6. 千葉県地域リハビリテーション協議会員の派遣
7. 千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進作業部会への委員派遣
8. 千葉県介護保険関係団体協議会への団体加入、委員派遣。
9. 千葉地域リハビリテーションセンター連絡協議会への委員派遣
10. 在宅医療・介護連携推進事業。在宅医療・介護連携推進事業
11. 市原圏域における代表者の派遣
12. 委員派遣に関するマニュアルの作成

※部員人数：4名

事務局 福利厚生部

1. 新人会員オリエンテーション
資料配布（ダウンロード）形態とするがWEB開催も検討したい。
2. 託児事業
各部局の活動に合わせ、託児業者の斡旋と仲介
3. 新規委員の募集
2名程度の委員の募集（4～6名体制）

事務局 調査部

1. 各部局と協力し調査活動を実施
2. よりよい調査方法（情報収集方法等）の検討
3. 調査結果を県土会ニュース等で報告

地域連携部 制度対策委員会

1. 委員会員は4分野（医療保険、介護保険、障害者、障害児）の新規委員を募集する。
2. 制度改定に伴う新規課題に対する県土会内の初動対応と研修や情報収集
3. 広報誌を通じた会員への情報配信
4. 調査部と連携し会員の実態調査（2022年度は調査計画）

地域連携部 連携システム委員会

1. 委員会員5名程度を目標に新規委員を継続して募集する。
2. 従来のマメールの運用の見直し
3. 各部署（ブロック）と連携し配信機能整備

地域連携部 こども連携委員会

1. 委員会員は10名程度を目標に新規委員を募集する。
2. 県士会内での対応窓口の整備（発達障害委員会からの移行）
3. 発達障害委員会と連携し、学校教員向け WEB 研修会を1回開催する。
4. 県内の連携事例の情報収集と委員会周知

地域連携部 災害対策委員会

1. 県士会における災害対策に活用できるネットワーク体制の構築と運用
 - a. J A O T 災害対応訓練への参加（年1回）
 - b. 安否確認訓練の実施（年1回）
 2. 県士会における災害支援活動基本指針等の管理
 3. 災害リハに関する連携体制構築・人材育成
 - a. J I M T E F 研修受講（委員の災害対応に関するスキルアップ）
 - b. J A O T 災害支援研修会への参加（年1回）
 - c. 会員向け研修会の開催（年1回）
 - d. 千葉県作業療法士学会での啓発活動
 - e. 千葉 P O S 災害対策委員会への参画
 4. 千葉 JRAT 構成団体としての活動
 - a. 千葉 JRAT 幹事会への参加（委員2名、年4回）
 - b. 九都県市合同防災訓練への参加協力（年1回）
 5. 災害発生時の支援活動
 - a. 支援者向けパンフレットの作成
 - b. 県士会災害対策本部の設置と活動
 - c. 千葉 JRAT としての支援活動
- ※部員人数：9名、会議開催（年4回）

地域連携部 地域共生社会推進委員会

1. 研修事業

- ・地域連携推進研修会の開催：「千葉県地域 OT 連携ミーティング」

〈対象〉 地域支援・地域リハビリに関心・興味がある千葉県内の OT・支援者・OT 学生

〈目的〉 ①コロナ禍での地域支援の現状や課題の共有②OT の支援の質の向上③地域支援の情報収集

〈実施方法及び回数〉 Zoom による遠隔会議・1~2回（平日夜間を想定）

〈参加費〉 無料

※(65歳大学関連)は講師料も勘案し対面で確実な参加者が見込まれるようになってから実施

- ・地域共生社会推進に関する研修（イタリアでの研修報告）

〈対象〉 地域連携推進委員活動に関心を持つ千葉県 OT 士会員および現委員・県士会に関心のある非会員 OT・OT 学生

〈目的〉 会員および委員の資質の向上

〈方法〉研修会の開催（オンラインも想定）

〈参加費〉無料

2：ネットワーク構築と見直し(継続)

〈対象〉千葉県 OT 士会員

- 〈目的〉(1) OT ネットワークを構築し、スムーズでダイレクトな情報発信を可能とすること
(2) 千葉県 OT 士会員が欲している情報の配信を速やかに行うこと
(3) 災害時の安否確認システムなど、他委員会活動を結びつけ配信すること
(4) より周知しやすい配信システムの継続的な検討

〈方法〉・マメール案内（県士会活動案内研修会案内災害安否確認）の継続

・マメール登録者増：広告手段の検討(郵送物に案内同封他継続検討)

・広報誌配信に関しては、理事会・広報で検討依頼

3. 地域における OT の活動の現状把握

〈目的〉各地域の OT の活躍の現状と課題を把握し今後の県士会及び委員会活動の検討材料とする

〈方法〉①昨年度実施した step0 + 1 研修での地域での OT の現状と課題の情報整理

②各ブロック委員に研修会への参加・講義依頼ブロック長会議への参加等で情報共有を図る

4：定期委員会の開催(月 1 回約 2～3 時間)

〈目的〉活動計画の実施準備・振り返り等

〈方法〉WEB 開催（委員の所在が各地に渡る為、基本的に WEB 開催）

5：本協会関東ブロック会議への参加

〈目的〉日本作業療法士会の関東地区の地域包括ケア関連の情報共有・意見交換

〈方法〉会議参加・得られた情報の委員会での共有と意見交換等（2～3 か月に 1 回参加者 1～3 名遠隔会議の予定）

地域連携部 福祉用具対策委員会

※下記に対する会議の開催（オンラインベース）部員数 7 名：年 12 回

1. 県士会員向けに福祉用具相談窓口、相談システムの広報と活用の促進（昨年度に引き続き、県士会ニュースへの適宜掲載）
2. R4 年度 HCR 参加、相談窓口での相談支援の継続
3. 他団体との連携の検討
 - 1) 研修会企画運営（R3 年度は OT 士会員向けに開催）
 - 2) 他職種意見交換会の開催の検討（こちらについては検討、必要に応じて開催）
4. 「生活行為工夫モデル事業」参加のための情報収集と検討
5. 福祉用具相談支援アドバイザー全国会議への参加

地域連携部 認知症対策委員会

1. 認知症リハビリテーション専門職研修会（基礎コース・応用コース）の開催（※千葉 POS と連動）

〈対象〉作業療法士・理学療法士・言語聴覚士の資格を有する者

（原則として、千葉県作業療法士会・千葉県理学療法士会・千葉県言語聴覚士会会員とする）

〈目的〉①リハビリテーションを担う三職種に対し、認知症の疾患、制度、支援制度などの基礎知識や、認知症リハビリテーションの基本を習得し、認知症支援の理解並びに知識の習得を

図る。

②認知症の当事者及び家族が、できる限り自分らしい生活を継続できるように、リハビリテーション専門職の立場から適切な支援やサポートができる知識、技術を習得する。

③リハビリテーションを担う三職種が、基礎および応用的知識・技術を活かし、各地域において認知症リハビリテーションリーダーとして対応できる知識、技術を習得する。

〈方法〉①基礎コース 日時：R4年6～8月の4日間 定員：40名 開催方法：オンライン

②応用コース 日時：R4年10～3月の6日間 定員：30名

開催方法：オンライン+グループワーク

※感染対策を踏まえオンラインを中心し、グループワークの場合のみ対面を検討する

2. 認知症の人と家族の会と協力した交流会や研修会の企画と実施

〈目的〉認知症の人と家族の会と協力したものを企画・検討し、今後の関係体制を構築する

〈予定〉認知症の人と家族の会千葉支部の交流会の中にリハビリ専門職が出席したり、企画を検討していく中で、一緒に行える活動や研修を企画し、実施する（交流会での講話、本人ミーティングなど）

3. 認知症フォローアップ研修の実施

〈対象〉認知症リハビリテーション専門職研修（応用コース）を修了したリハビリテーション専門職

〈目的〉① 地域で生活している当事者や家族、活動している団体の生の声に触れてもらう

② 認知症のリハビリテーションリーダーとして実際に活動できる人材を発掘・育成する

③ 各地域において活動できる関係づくりと連絡手段を確保する

〈予定〉R4年3月くらいに、1回開催を予定

※特記：令和4年度は上記1〔認知症リハビリテーション専門職研修会（基礎コース・応用コース）〕のみ、千葉POSの予算で実施する。

上記2と3、その他の活動は、今まで通り認知症対策委員会としての予算（千葉県作業療法士会）として実施することとする。

広報部 ホームページ委員会

1. 求人掲載依頼の対応：随時（有料掲載対応含む）

2. 研修会案内掲載の対応：随時（有料掲載対応含む）

3. コンテンツ作成

①「作業療法士（OT）を目指す方へ」

②書籍紹介

③過去の学会発表の演題名、演者氏名の掲載（灰色文献の解消）

4. その他HPの軽微な修正（編集権限ID・パスワードの管理含む）

広報部 企画委員会

1. 学生対象広報企画

（現場の作業療法の紹介、作業療法学生相談会等）の開催（年2回予定）

2. 会議（年4回予定）

広報部 広報委員会

1. ニュース関連
 - 1) ニュースの発行 年間6号
 - 2) 記事スケジュールの見直し、次年度に向けたハイブリッド掲載の準備
 - 3) 各ブロックの広報委員との会議を通して、県士会やブロック活動が会員にわかりやすく関心を持ってもらえるような記事の掲載方法とニュース掲載方法の検討
 - 4) 求人広告の掲載
 - 5) 賛助会員から広告掲載依頼対応、管理
2. 推進活動
 - 1) OT 養成校との連携、OT の啓蒙
 - 2) 県士会員増にむけたパンフレットの作成
 - 3) 地域（行政含む）に向けた OT 紹介資料の作成
 - 4) 県士会員に向けた、広報媒体（SNS）の検討
 - 5) 県士会啓発グッズの開発と検証

教育部 臨床実習指導者講習会委員会

1. 臨床実習指導者講習会、および事前オリエンテーションの開催・運営（年3回予定）
2. 臨床実習指導者講習会フォローアップ研修、および事前オリエンテーションの開催運営（年3回程度予定）
3. 会議（年10回程度予定）
4. 千葉県作業療法士会運営 臨床実習指導者講習会に関する広報・啓発活動の拡大
 - 1) Twitter 等の活用による広報・啓発活動の拡大
 - 2) 啓発のためのグッズ製作等；例. 啓発用 LINE スタンプ作成、委員用講習会ユニフォーム製作
5. 臨床実習指導者講習会委員会の活動内容分析とその報告（学会発表、雑誌投稿）

教育部 MTDLP 推進委員会

1. MTDLP 基礎研修の開催（年2回予定）
2. MTDLP 実践者研修の開催（年3回予定）
3. MTDLP 指導者育成のための研修開催（年2回予定）
4. MTDLP 推進委員会運営のための会議（年6回予定）
5. 委員会メンバー拡充のための活動（随時）

教育部 現職者研修委員会

1. 委員数は 28 名とし、研修会ごとの担当制とする。
2. 委員会について
全体会議 2 回、および研修担当者ごとの部会を必要に応じて行う。
3. 研修会の運営について
日本作業療法士協会生涯教育制度に従い、現職者共通研修を 10 講義実施する。また、現職者選択研修は、「発達障害領域」の 1 領域を実施する。
4. 事例研究Ⅲ（事例発表）の受講を促す。また、既履修者の受講を認め、事例を通じた研鑽の場とする。
5. 共通研修以外で行った事例研究③の事例報告履修申請の審査及び修了印手続きを行う。
6. 委員 1 名が、日本作業療法士協会生涯教育推進委員として会議へ出席、情報提供及び収集を行う。
7. 委員 1 名が、日本作業療法士協会生涯教育受講登録システム登録管理責任者として、研修会ポイント登録申請作業を行う。

学部本部

1. 全体会議（年 2 回）

学部 精神障害委員会

1. 研修会開催／オンライン開催（年 1 回）
2. 会議（年 3 回 オンライン予定）

学部 老年期障害委員会

1. 研修会開催／オンライン開催（年 1 回）
2. 会議（年 3 回 オンライン予定）
3. 千葉県作業療法士学会ワークショップへの参画

学部 発達障害委員会

1. 研修会開催／オンライン開催：OT 会員向け（年 1 回）
2. 会議（年 3 回 オンライン予定）

学部 学術誌編集委員会

1. 千葉作業療法第 11 巻の企画・編集・発行（年 1 回）
2. 会議（年 3 回／内対面 1 回、オンライン 2 回予定）
3. メール会議（必要に応じて）
4. 編集体制の刷新、強化

学部 学会委員会

1. 第 24 回千葉県作業療法士学会の開催（学会実行委員担当：南総ブロック）
2. 会議（年 11 回：オンライン会議）

3. 学会参加率の向上のため、充実した内容および対象を明確化する。
4. 県民・市民へ作業療法の周知を図る。
5. 会員に向けた千葉県士会活動報告の場としての充実を図る。

ブロック活動部 ブロック活動

1. ブロック長合同会議の開催（年4回）
2. 県士会ニュースへの掲載やHPを活用したブロック広報活動
3. 各ブロック活動の調整や連携
4. 他部局委員会との協働による地域活動の関わり

ブロック活動部 東葛北部ブロック

1. 会議：5回程度/年
2. 懇親会：1回
3. 研修会：1回
4. ブロック内で所属している人的資源の把握、交流等
5. 他ブロック、ブロック活動部との連携等

ブロック活動部 東葛南部ブロック

1. 会議：10回/年
2. 懇親会・交流会：東葛南部を対象に年2回
3. 研修会：年2回
4. 東葛南部の会員/非会員に向けたアンケート調査

ブロック活動部 千葉中央ブロック

1. 会議：7回/年
2. 懇親会等：ブロック内のOTの連携作りを一番の目的とし、千葉中央ブロック単独での研修会運営にはこだわらない

例) 懇親会、研修会+懇親会、他の委員会とのコラボ企画など

3. 千葉POS（千葉市リハビリテーション連絡会）の活動への参加：急性期と生活期の連携について
4. 千葉市健康づくり大会：例年10月ごろ。千葉市の動きをみて、県士会として対応する
5. 千葉市以外の市町村のイベント参加の検討。
6. ブロック活動マニュアル作成：たたき台の作成を進めていく（他ブロックとの擦り合わせ必要か）

ブロック活動部 東総ブロック

1. 会議：4回/年
2. 懇親会・交流会：SNSを活用した情報共有・連携作り。
3. 研修会：1回/年

ブロック活動部 南総ブロック

1. 会議：10回/年（学会実行委員担当のため、主に学会の企画・運営）
2. 懇親会・交流会：学会担当のため特に予定なし
3. 研修会：第24回千葉県作業療法士学会

運転特設委員会

1. 委員会の定期開催（年4回）

5月8月11月2月に予定

2. 運転支援者情報交換会の実施

千葉県における運転支援及び移動支援の情報交換を12月頃に企画予定

3. 運転に関する情報の発信

地域ごとの交通資源や使用できる制度などをまとめた資料の更新と広報

病院間連携促進の一環として、病院間での情報共有のための「運転評価情報共有シート」の作成と広報

4. 運転に関する学習会の実施

5. 他機関（免許センター、指定自動車教習所協会）との連携促進

実車評価の内容や評価用紙のパッケージ化

診断書書式の検討など

選挙管理委員会

- ・委員会を開催する。
- ・役員選挙を執り行う。

40周年記念特設委員会

1. 活動期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

2. 活動計画

千葉県作業療法士会設立40周年を迎えてこれまでの歩みと活動をまとめ記念誌の発行を行う。

記念誌は県内境域機関と近隣県作業療法士会へ発送する。

3. 記念誌予定体裁

書籍体裁	ハードカバー
判型	A4判
ページ数	50ページ
本文カラー	2色刷り
印刷部数	100部

表彰委員会

- ・委員会を開催する。年3回。
- ・他団体からの表彰候補者選出依頼に対応する。
- ・作業療法士養成校卒業生を対象とした奨励賞の表彰を行う。